

町じゅうに小水路：
Bächleベヒレと呼ばれ町中を流れる水網ネットワーク



撮影：2014年8月（ドイツ・フライブルク）

◆環境創造都市にふさわしい水網装置

中世の時代から町じゅうを毛細血管のように広がっては集まる小水路で、上水ではなく下水でもない“中水”の流れです。子供が立ち入れる浅く緩やかな流れは文字どおりの親水路です。ベヒレの水源は、“黒い森”と呼ばれるシュバルツヴァルトに発します。谷底を流れるドライザーム川を水源として取水し、トラムの走る大通りからせまい路地に至るまで、全長7kmにわたる水網ネットワークはドイツ・フライブルク一番の魅力です。

岡村幸二（JRRN会員）